

基本情報に関する項目

受付日：令和 6 年 2 月 1 5 日

受付者：

受付方法：電話

利用者名	A	性別	女	生年月日	明治・大正・昭和 年（ 88 歳 ）
住 所	B 市			電話番号	000-000-0000
主 訴 意 向	〔相談内容〕 〇〇リハビリテーション病院〇〇相談員より 88 歳女性。右大腿骨頸部骨折で〇〇リハビリテーション病院に入院中。入院前は基本的に自分のことは自分でできていたが、今回のケガと手術でできないことが増えている。術部の痛みの訴えがあり、歩くりハビリはあまり進んでいない。 慢性心不全があり、入院前に慢性心不全の急性増悪を何度か繰り返していた。入院中は、服薬・塩分・水分管理により安定している。 受傷前からもの忘れがあったが、日常生活に支障はなかった。入院中、認知力が低下した印象がある。				
	〔本人・家族の主訴〕 本人：家で娘と二人で今までのように暮らしたい。ケガをする前に比べていろいろと体が不自由になってしまったが、できるだけ人の手を借りずに自分でやりたいと思っている。 痛みがあるののと、また転ぶのではないかと心配がある。 もう転びたくないし、入院もしたくない。 老人会のカラオケ会には参加したいと思っている。みんなが心配しているかもしれないから。 長女：平日の日中は仕事で不在である。今まで母の面倒をみることは負担に感じていなかった。朝が早いので、母の朝食を作ってから仕事に行っているが、時間がなくて作れないこともあった。 入院して身の回りのことにも介護が必要になって、物忘れも進んでいる気がする。 心臓のことも気になる。心不全と言われており、何度か入院もした。薬の飲み忘れがあったり、塩分の取り過ぎを注意されていたので、退院したらまた心臓を悪くするのではないかと心配している。 退院後は、家事と仕事が両立できるか不安はある。				
これまでの生活と現在の状況	〔生活歴〕 C 県出身。米作り農家に 4 人きょうだいの一番目の長女として出生。農業を手伝い、家の事や弟妹の世話もしていた。新制中学校を卒業。18 歳で隣県のミシン製造会社に就職。20 歳で国鉄職員（JR）の夫と見合い結婚、以来専業主婦。25 歳で長女出産。夫の転勤に伴い引っ越しを繰り返していた。子供の学校や地域の役員など、頼まれたことは断ることなく役割を果たし、周囲から信頼されていた。30 年ほど前に現住所に家を建て定住。9 年前に夫が亡くなり、現在は長女との二人暮らし。長女はスーパーにフルタイムで勤務。 洗濯、掃除は長女と一緒にしていた。食事は朝と夕は長女が用意し、長女が仕事で不在の昼は、菓子パンやスナック菓子、せんべいなどで済ませることが多かった。以前は漬物を仕込むのが趣味で、ぬか漬けなどをよく作っていた。現在も漬物が好きでよく食べている。 過去に圧迫骨折の既往、慢性心不全の急性増悪で数回の入院あり。元の生活に戻れているが、徐々に体力は低下している。 外出は、近所のスーパー（500m）へ買い物に行くか、老人会のカラオケ会（月 2 回）に参加するために地区の公民館（700m）へ行く程度。				

	〔趣味・特技〕 漬物作り、カラオケ						
	〔家族状況〕 ※家族構成図（ジェノグラム）を記載してください。			続柄	年齢	同別居	健康状態
<p>※家族構成図（ジェノグラム）を記載してください。</p>			長女	63	同居	良好	あり
健康管理 ※かかりつけ医のNo.に○をつける	No.	病名	初診年月日	医療機関 (病院、診療所) ※固有名詞は伏せる		診療科	
	1	右大腿骨頸部骨折	R4.11.3	〇〇リハビリテーション病院		整形外科	
	2	慢性心不全、心房細動	H25.2.25	□□内科		内科	
	3	腰椎圧迫骨折	H24.	△△整形外科医院		整形外科	
	4	骨粗鬆症	H12.6.1	△△整形外科医院		整形外科	
	5						
服薬情報							
<ul style="list-style-type: none"> ・フロセミド (10) 1錠・分1朝食後 ・カプトプリル (12.5) 1錠・分1朝食後 ・ベニジピン塩酸塩 (4) 2錠・分2朝夕食後 ・ペプリジル塩酸塩水和物 (100) 2錠・朝夕食後 ・アンドレロン酸ナトリウム水和物 (35) 1錠・週1回起床時 ・アセトアミノフェン (300) 2錠・分2朝夕食後 ・トラゾドン塩酸塩 (25) 1錠・分1眠前 							
日常生活自立度	日常生活自立度 (障害)		A 1	日常生活自立度 (認知症)		I	
認定情報	要介護度：要介護 1 令和 6 年 1 月 15 日～令和 7 年 1 月 31 日			認定日	令和 6 年 2 月 14 日		
今回のアセスメントの理由	新規 ・ 更新 ・ 区分変更 ・ その他 ()						
社会保障制度の利用情報等	【医療保険の種類 後期高齢】 【年金の種類 国民】 【生活保護受給 有・無】 【障害者関係手帳 (身体、知的、精神) 等級等の程度】 取得年月日 【難病認定】						
現在利用している支援や社会資源の状況	なし (フォーマル・インフォーマルを含めて)						

【入院から退院までの経過】

令和 5 年 11 月 3 日、自宅居間のコタツ布団に躓き転倒。夕方、仕事から帰宅した長女が発見し救急車を要請。市立病院に救急搬送、右大腿骨頸部骨折にて入院。2 日後に右人工骨頭置換術を受け、約 2 週間後に〇〇リハビリテーション病院に転院。約 3 か月間のリハビリテーション後の退院予定。

病院からの勧めで介護保険を申請し、要介護1の認定を受ける。〇〇リハビリテーション病院のMSWより居宅介護支援の相談あり、受託。

本人・長女と病室で面談。その後、担当PT/OTの退院前自宅訪問に同行。複数回の情報収集と分析を行い、ケアプラン原案を作成し、本人の同意を得る。退院前カンファレンス、サービス担当者会議を行い退院の予定。